

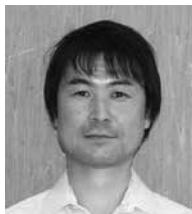


いでや八潮路乗り越えて
緋と燃えさかる鋭心に久遠の希望
かざしつつ力と汗に奮い起つべき
ああ緑ヶ丘の男見われ乙女われ
かえりみずして出で起たん

PTA活動

一年を振り返って

PTA会長 吉田 孝太郎



一年間、鰺ヶ沢高等学校PTA会長を務めさせていただきました。役員を始め会員の皆様、先生方には一年間大変お世話

話になりありがとうございました。

4月に、前長谷川会長の後を引き受けPTA会長に就任した際には、わからないことばかりで至らない点が多々あり皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしたと思います。

PTA会長に就任して正直一番驚いたことは全校生徒数でした。私が平成二年度に鰺ヶ沢を卒業した時は、一学年（普通科4クラス、家政科1クラス）約200人で、全校生徒は600人くらい在校しておりました。現在は87名と全国的に問題となっている少子化がここまで進んでいるとは思ってもいませんでした。本校は、小規模校ではありますが、校長先生をはじめたくさんの先生方の努力により生徒も元気に自分の目標に向け頑張っている姿をみることができ安心しております。

さて、早いもので平成30年度も残りわずかとなりました。この一年間について振り返ってみたいと思います。まずは、体育祭。6月にしてはとても暑い中、全校生徒が一生涯命競技を行い、最後のクラス対抗リレーでは

ゴール前接戦で盛り上がりました。また、今年も町内の園児が参加する競技もありとても有意義なものとなりました。一週間後には、流し踊りがありました。鰺ヶ沢駅前を出発し、七ツ石町付近まで来たところで雨により途中で中止となりましたが、沿道の皆様よりたくさんの方の声をいただきました。9月の耐久遠足は、全校生徒が長平旅行村まで事故もなく無事に往復歩き通すことができました。昼食は、PTA皆様の協力により大鍋で作った豚汁を堪能しました。10月の鰺ヶ沢祭、雨交じりの天気となりましたが多くの方々に来ていただきました。ステージ発表や三年生による模擬店、PTAチャリティー販売と模擬店、SBP研究会の「力士くんおやき」販売等とても好評で完売する事ができました。

一年間、PTA活動に関わり感じたことは、学校行事の際には、会員皆様のご協力がなくてはならないということです。今年度のご協力には、とても深く感謝しております。今年は、三年生の保護者が主導となり活動してきました。来年度からは更に生徒数も減るため、少しでも多くの会員、全学年の皆様に参加していただくようお願いいたします。今後は、協力者が少ないと学校行事に影響を及ぼす恐れがあります。この少子化の時代、会員の皆様には大変恐縮ですが今一度我が子のためにご協力を重ねてお願いいたします。

最後となりますが、西北地区の各県立高校の志望状況は定員割れと非常に厳しい状況となっております。今回、鰺ヶ沢は募集人員の半分は満たしておりますが、今後も減少していくものと思われれます。今年は、平成最後の節目の年でもあります。生徒たちには「信念」を持ち自分の「夢」に向かって頑張っていたきたいです。鰺ヶ沢も各関係者の協力により一年でも長く存続することを願います。

西北地区協議会 研修委員長を終えて

研修委員長 山本 弥智世

西北地区協議会研修委員長を拝命し、忘れられない思い出があります。10月3日（水）プラザマリユウ五所川原で行なわれた西北地区協議会研修会でのことです。

この日は、講師に園村義誠氏を迎え、「人はみな生かされて生きて行く」というコンセプトのもと、教師、僧侶、保護司という仕事に携わりその経験を交えての講演は大変意義深いものでありました。質疑応答の時間となり、ある一人の女性が「私、昔先生にコーヒーを奢って貰ったことがあります。覚えていますか？」との言葉に一瞬、顔がほころび「学生時代、こんな所（京都）で懐かしい津軽弁を聞いたので、ひとつコーヒーでも奢ろうか。」と、コーヒーを奢った記憶があると話されたのを聞き、時間を遡り遠い地でコーヒーを奢った人と奢られた人が、ここ五所川原で巡り会うなんて、こんな小説の一節のような奇跡が本当にあるのだなあと感動したのは、私のみならず会場にいたほとんどの方が思ったことでしょう。

この日は、鰺ヶ沢高校が当番校となっており、お忙しい中にもかかわらず大勢の方にお越しいただきました。アンケートにもたくさんの方の回答を頂き、次の研修会への参考となってくれればと思っております。また、講師の園村氏を始め、お忙しい中お越しいただいた方々、お手伝い下さった保護者の方々、関係者各位には厚くお礼申し上げます。

近年の少子化による生徒数の減少は、我が鰺ヶ沢高校も例外ではなく、それになうPTAの減少によるイベントの縮小はやむを得ない状況になりつつあります。しかし、これには保護者の方々の御協力が必要不可欠なのです。文化祭での模擬店の出店、耐久遠足での豚汁作り、保護者の方が着付けた浴衣を着て生徒が踊る流し踊りは、町民の皆さんがとても楽しみにしています。この素晴らしい伝統や文化がいつまでも存続してくれることを祈念してやみません。

最後に、頼りない委員長ではありましたが、皆様からのご支援、御協力のもと、西北地区協議会研修委員長という任務を、この一年無事遂行できましたことに深く感謝申し上げます。

「ありがとうございました。」

平成30年度青森県高等学校PTA連合会

西北地区協議会研修会

10月3日（水）プラザマリユウ五所川原において、西北地区協議会研修会が実施されました。テーマ「人はみな生かされて生きていく」に添い、講師に浄土真宗大谷派來生寺住職園村義誠氏をお招きし、演題「教師、僧侶、保護司の仕事に携わって」の講

演を行ないました。75名の参加者が熱心に講演を聞き、質疑応答では、質問や感想だけでなく、後輩から高校時代のお礼なども飛び出し、盛況のうちに終了することができました。

本年度は本校が事務局であり、地区協議会研修委員長を山本弥智世さんにお引き受けいただき、会員の皆さんのご協力のもと無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。

◆主なPTA活動◆

- 4月 7日 PTA入会式
- 4月 24日 PTA・後援会合同総会
- 6月 8日 青森県高等学校PTA連合会十和田大会
- 7月 13日 宵宮巡回（浜町・胸肩神社）
- 7月 4日 宵宮巡回（舞戸町・正八幡宮）
- 7月 20日 PTA広報紙「舵」40号発行
- 7月 30日 鯉ヶ沢高校「流し踊り」着付け協力
- 9月 21日 一声運動、耐久遠足（豚汁支援）
- 10月 28日 鯉ヶ沢祭（PTA・チャリティ販売）
- 2月 28日 PTA広報紙「舵」41号発行

進路指導部から

今年度を振り返って

就職

今年度の県内求人状況は、昨年に引き続き好調を維持していますが、求人票に関しては昨年、一昨年と比較した場合、減少傾向にあります。県外企業の求人も、昨年度をピークに減少していますが、求人状況が思うようにいかなく、二次・三次及び三月末まで継続募集を行うという会社が、サービス業を中心にあります。

三年生の就職活動は、夏休み中の企業見学や試験対策に積極的に取り組む姿が見受けられました。また、公務員試験には六名の生徒が挑戦し、公務員一般職、青森県警察、鯉ヶ沢町役場、自衛隊等に合格を果たしました。一、二年生の皆さんの中で公務員を目指すという人は、今すぐにも目標達成に向けて準備してほしいものです。早期対策が最後にはよい結果に繋がります。

進学

四年制大学二名、短期大学五名、専門学校と公共訓練校に十九名が合格しました。それぞれ日頃から平常講習や小論文・面接の個別対策、添削指導等に真面目に取り組んでいました。その結果として上級学校に進学を決定することができました。

オープンキャンパスへの参加、情報の収集、授業や課外講習等への積極的な取り組みが進路目標の達成に繋がります。

進路目標達成

就職・進学ともに目標を早期に決め、勉強や部活動、資格取得に励み、充実した高校三年間を送ることが大事になります。「自己を十分に生かした人生とはどのようなものか」をよく考え、よりよい人生の実現を目指して頑張ってください。進路指導部では皆さんを応援しています。

進学先一覧

大学	青森公立大学経営経済学部 千歳科学技術大学理工学部	短大	青森明の星短期大学子ども福祉未来学科、弘前医療福祉大学短期大学部介護福祉学科、東北女子短期大学保育科（2名）
専門・各種	青森職業能力開発短期大学校（2名）、S.K.K.情報ビジネス専門学校、厚生看護専門学校看護高等課程准看護学科、弘前市医師会看護専門学校看護高等課程准看護学科、盛岡医療福祉専門学校MCL盛岡情報ビジネス専門学校、東北保健医療専門学校、仙台コミュニケーションアート専門学校、大宮医師会立大宮准看護学校		

就職先一覧

県外	(株)築地すし好、(株)タツノ化学 千葉工場、東京美術紙工協業組合
県内	青森総合警備保障(株)、(株)日本マイクロニクス 青森工場、(株)ホテルサンルート五所川原、日本郵便(株)東北支社、(株)マエダ、(有) ジャムフレンド、(株) 五所川原中央青果、大泉開発 (株)、鯉ヶ沢町役場、青森県警察、自衛隊一般曹候補生（2名）、自衛官候補生（2名）

平成31年1月31日現在 ※就職進学者1名は進学に計上

	大 学		短期大学		専門学校・各種		小 計	就 職		公務員		小 計	未決定	決 定
	県内	県外	県内	県外	県内	県外		県内	県外	県内	県外			
男	1	1	1	1	3	3	10	0	1	3	0	4	0	14
女	0	0	3	0	1	2	6	8	2	3	0	13	2	21
計	1	1	4	1	4	5	16	8	3	6	0	17	2	35
合計	2		5		9		16	11		6		17	2	35



初めての流し踊り

時折大雨に見舞われた中での町内パレードになりましたが、笑顔で踊ることができました。個人では31 H R 成田樹李さんが、団体では32 H R が最優秀賞となりました。

流し踊り

6月30日



フォーメーションはバッチリ!!

ドッジボールとバレーボール競技を実施しました。どちらもクラスの応援で大変盛り上がり楽しく終えることができました。

スポーツ競技大会・夏 7月23日



最後キマッタ!

今年のテーマは「彩」。3学年の模擬店をはじめ、学年展示、装飾、ステージ発表、SBP研究会の力士くんおやき販売など一人ひとりが輝く鯉高祭になりました。PTAチャリティ販売へのご協力ありがとうございました。

鯉高祭

10月27・28日



最後まで笑顔で!

青空の下、長平青少年旅行村まで往復24kmを歩きました。豚汁調理のご協力、ありがとうございました。

耐久遠足

9月22日



まかせてっ

バドミントンとバスケットボール競技を実施しました。バドミントンでは校長先生の勇姿をみることができました。

スポーツ競技大会・冬

12月20日



舞妓さんと

京都、大阪、奈良の旅を満喫しました。奈良公園の鹿に旅行のしおりを食べられるという楽しいハプニングもありました。

修学旅行

12月11〜15日

舵(かじ)／鯉高PTA新聞・第41号
平成31年2月28日発行
■編集・発行／青森県立鯉ヶ沢高等学校PTA
〒038-1776
鯉ヶ沢町大字舞戸町字小夜七二

編集後記

本年度も生徒の笑顔と頑張りで楽しく一年が終えられそうです。来年度も、生徒のあふれる笑顔と会員の方々の姿をお伝えしたいと思います。教職員はじめ保護者の方々のご協力をお願い致します。



がんばりますっ!

これまでにない猛吹雪でしたが、スキーの技術向上を目指し頑張りました。スキーの楽しさと辛さを同時に味わうことができました。

スキー教室

2月1日